

平成27年度 長野県上田高等学校 定時制終業式 校長講話

平成28年(2016年)3月17日(木)

皆さん、おはようございます。

平成27年度も今日が最後の登校日になりました。

1年前の昨年4月、1年生は、高校入試を受け、上田高校に合格し、珍しく桜の花が咲いていた入学式に出席してから1年が経ちました。

2年生・3年生は、それぞれ1年生・2年生から上の学年に進級して、1年が経ちました。

同じように3年生から4年生になった生徒、2年生から3年生になった三修生の生徒は、1年をかけ、この3月2日に卒業していきました。

次は皆さんの番です。

この1年、皆さんにとって早かったでしょうか、それとも長かったでしょうか。

今日は、この時期に皆さんに考えてほしいことを話したいと思います。

中国の詩の一節に「年年歳歳花相似 歳歳年年人不同」(ねんねんさいさいはなあいになり さいさいねんねんひとおなじからず)というのがあります。

花に代表されるような自然は、年年歳歳、つまり毎年、少なくとも外見は変わらないように見える。しかし歳歳年年、毎年、人は同じではない、外見も中身も変わる、という意味です。

良くも悪くも人は変わります。変わる、変われるのが人間だとも言えます。

どうせ変わるのならいい方に変わっていきたいと思います。

明日は高校入試の合格発表です。

皆さんの人生には本校に入学するまでに様々なことがあったと思いますが、このタイミングで、ぜひ皆さんには、この学校に入学しようと思った時の、そして入学したときの初志、初心ではなく初志、最初の志を思い出してほしいと思っています。

なぜこの学校に入学しようとしたのか、どんな思いを抱いて入学して来たのか、入学してやりたかったことは何なのか、どんな人間になりたいと思っていたのか。

皆さんの中には、本当に頑張っている人もいます。ちょっとたるんでしまったかなあという人もいます。どちらの人も、この春休み、ぜひ自分を見つめる時間を取って、皆さんにとっての初志、つまりこの学校で頑張ろうと思った頃の気持ちをもう一度思い出して、気持ちを新たに新年度を迎えてほしいと思っています。

皆さんの人生を充実したものにするのも、幸せなものにするのも、全て皆さん次第です。

新年度、また元気な姿で会いましょう。